

No.	015	—	2007	事務事業名	浸水対策事業				細事務事業名	補償補填及び賠償金業務				公的関与	3
PLAN	課名	建設課			係名	用地管理係			電話番号	089-964-4472		メールアドレス	kensetu@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ハード事業			事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	令和元年度	～	令和3年度		
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち			政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実				主要施策	(4) 治山・治水対策、市街地浸水対策の推進			
	事業の対象	浸水対策事業補償対象者							根拠法令						
	事業の目的	最終的	浸水対策事業における補償対象者と契約する。					今年度							
	活動内容	①	浸水対策事業の整備促進					④							
		②						⑤							
		③													
	成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終目標		
					事業の性質上、指標設定になじみません。				目標						
実績															
							目標								
								実績							
							目標								
								実績							
DO	予算費目	会計	一般会計				費目名	土木				費			
	直接事業費		平成30年度決算		令和元年度決算		令和2年度予算		備考						
		国・県支出金	0千円		0千円		0千円								
		地方債	0千円		0千円		0千円								
		その他特定財源	0千円		0千円		0千円								
		一般財源	0千円		1,847千円		1,700千円								
		計(A)	0千円		1,847千円		1,700千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000人	0千円	0.200人	1,248千円	0.200人	1,249千円							
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円							
	全体事業費(A+B)		0千円		3,095千円		2,949千円								
CHECK・ACTION	一次評価者	用地管理係		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）													
	必要性	浸水対策事業において、物件補償が必要な場合契約を行う。													
	有効性	事業ごとに物件補償があれば契約を行う。													
	達成度	補償対象者との契約を終えた。													
	効率性	厳しい予算状況ではあるが、浸水対策事業に伴い補償対象地があれば地権者と用地交渉を行い契約をするため必要な事業である。													
	当面の課題	浸水対策事業に伴い物件補償対象地があれば、用地交渉を行い契約を行うため、必要に応じて予算対応を行う。													
	改訂計画	年次計画に基づき補償対象地があれば、用地交渉を行い契約を行っていきます。													
	二次評価者	建設課長		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項		近年多発している豪雨等による市街地の浸水被害発生に対して、更なる浸水被害が発生することのないよう用地補償を適切に行い計画どおり事業を推進し、早期に整備することにより被害の防止及び軽減を図る必要があります。													

No.	015	—	2008	事務事業名	浸水対策事業			細事務事業名	公有財産購入業務			公的関与	3
-----	-----	---	------	-------	--------	--	--	--------	----------	--	--	------	---

PLAN

課名	建設課		係名	用地管理係		電話番号	089-964-4472		メールアドレス	kensetu@city.toon.ehime.jp			
事業区分	ハード事業			事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	令和元年度	～	令和3年度	
総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち			政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実			主要施策	(4) 治山・治水対策、市街地浸水対策の推進			
事業の対象	浸水対策事業用地買収者						根拠法令						
事業の目的	最終的	浸水対策事業における用地買収対象者と契約する。					今年度						
活動内容	①	浸水対策事業の整備促進					④						
	②						⑤						
	③												
成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終目標	
				事業の性質上、指標設定になじみません。				目標					
									実績				
								目標					
									実績				
								目標					
実績													

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	土木				費	
直接事業費		平成30年度決算		令和元年度決算		令和2年度予算		備考				
	国・県支出金	0千円		0千円		0千円						
	地方債	0千円		0千円		0千円						
	その他特定財源	0千円		0千円		0千円						
	一般財源	0千円		1,850千円		0千円						
	計(A)	0千円		1,850千円		0千円						
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000人	0千円	0.200人	1,248千円	0.000人	0千円					
	臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
全体事業費(A+B)		0千円		3,098千円		0千円						

CHECK・ACTION

一次評価者	用地管理係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	浸水対策事業において、用地買収が必要な場合契約を行う。												
有効性	事業ごとに用地買収があれば契約を行う。												
達成度	用地買収対象者との契約を終えた。												
効率性	厳しい予算状況ではあるが、浸水対策事業に伴い用地買収対象地があれば地権者と用地交渉を行い契約をするため必要な事業である。												
当面の課題	浸水対策事業に伴い用地買収事業地があれば、用地交渉を行い契約を行うため、必要に応じて予算対応を行う。												
改訂計画	年次計画に基づき用地買収事業地があれば、用地交渉を行い契約を行っていきます。												
二次評価者	建設課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項		近年多発している豪雨等による市街地の浸水被害発生に対して、更なる浸水被害が発生することのないよう用地補償を適切に行い計画どおり事業を推進し、早期に整備することにより被害の防止及び軽減を図る必要があります。											